

整理 No.		2016-13	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所						
災害発生日時		2015年9月16日(水)	15時00分頃	天気 (小雨)		
災害区分		不休災害		休業災害 (休業見込み日数: 日)		
被災者	部門	生産・ <b>技術</b> ・営業・管理(事務)	雇用形態	<b>正社員</b> ・派遣・契約・その他( )		
	年齢	43歳	性別:	<b>男</b> 女	勤続年数 1年   経験年数 1年 2ヶ月	
	傷病名	病名 (創傷)				
	傷病部位	部位 (右手中指)				
災害発生状況	<p>実験に使用したガラス器具の取外しを行う際、冷却管がフラスコに接着しており、ねじりながら無理やり取外したことで、一部が欠け先端が鋭利な状態になった。</p> <p>ガラス器具の接着防止の為、シールテープが巻いてあり破損部が見えず、破損した先端部に右手が触れ中指を切創した。</p>		<p>状況概略(写真orイラスト)</p>			
	災害の型 <sup>※1)</sup>	:6,切れ、こすれ		作業の形態: <b>定常</b> 、非定常、その他( )		
起因物:ガラス器具		特記事項:				
原因	1,人的要因(man):					
	ガラス器具が接着していた為、手が滑らないよう素手で取外し作業を行った。					
	2,物に関する要因(machine):					
	無理な力がかかってガラスが破損し、先がナイフのように鋭利な状態になっていた。					
原因	3,環境要因(media):					
	接着防止のために巻いていたシールテープで破損部が見えなくなっていた。					
原因	4,管理的要因(management):					
	ガラス器具への取り扱いに関して、危険予測などの教育が十分に行えていなかった。					
対策	ガラス器具の取り扱いについて指針を示し、安全面の注意点を明らかにした。					
	⇒接着してしまった部分を外す際には保護具として滑り止め付きの耐切創手袋を使用する。					
	⇒外れない場合は無理に力をかけず、溶剤への浸漬等を行う。					
	⇒シールテープを巻く際は、先端部分は露出させる。					
対策分類 <sup>※2)</sup>		:1-2,災害・事故の想定と対応、1-6,教育				
備考	類似箇所の摘出 :					